

令和6年度 第1回岩美町男女共同参画審議会 議事録

- 1 日時 令和6年7月24日(水) 午前10時00分～午前11時40分
- 2 場所 岩美町役場 2階 中会議室
- 3 出席者 出席委員8名 欠席委員3名
(委員) 山田 恭子(女性団体連絡協議会) 間渕 武志(女性団体連絡協議会)
中島 紀子(女性団体連絡協議会) 土井 啓子(女性団体連絡協議会)
芝岡 みどり(女性団体連絡協議会) 岩垣 伸一(社会福祉協議会)
日下部 衆理(地区公民館長会) 中沢 政春(公募) 田中 仲雄(公募)
(事務局) 次 長 橋本 大樹(岩美町教育委員会事務局)
係 長 濱田 博之(//)
廣田 哲子(//)

4 概要

1 開 会

委員総数11名のうち、本日の出席委員は9名で過半数に達しており、審議会は成立

2 あいさつ

山田会長からあいさつ

3 議 事

(1) いわみ虹色プランー岩美町男女共同参画計画ーに係る令和6年度 of 取組について

(事務局から取り組み内容について説明)

- 委員 他町のホームページを見ると、男女共同参画の意識啓発という観点で面白い取組や工夫をしている。色々な取組があるなか、家庭とか地域で暮らしの中の気になる、モヤっとした言葉、逆にグツときた言葉などを募集する、これは大事な取組だと思った。また、景品・粗品を出すなど、男女共同参画について盛り上げていこうという雰囲気伝わってきた。キャンペーンをするなどは良い取組で見習うべきかと思う。
- 委員 男女共同参画に関連して防災について思うことが、消防団員は基本的に男性

がなっている。どこの市町村もほとんど男性がしているでしょ。

○事務局 鳥取市には女性消防団があり、活動も活発におこなっています。

●委員 田後には、女性消防団がある。船で男性が留守をするから、女性が消防団員として活動をするみたいです。

●委員 今は、どこにどんな方が住んでいるのかわからない。高齢の方が多い。尋ねても個人情報だからと言って教えてもらえなかったりする。社会が秘密主義になり、助け合いをしようと思っても難しくなった。

○事務局 地域の中での避難について、例えば独居の方など、どこにどういった事情の方がおられて、もし災害等が起こった時にどう避難させるかということ、集落や地区で計画をつくっているところです。その中では、個人情報も一定のルールの中で共有し、例えば昼間一人になっている高齢者の方は、昼間いる近所の誰かが助けに行くというようなことを取り決めを行っています。なんでも個人情報だからと非公開とするのではなく、命に関わる場合や災害時などでは、地域の中で共有して助け合っていたらと思います。

●委員 私は、町内会の会長もしている。町内会の理事会や、会長、副会長などの役員は、情報の共有をある程度しているの、体が不自由な方がここに住んでおられるとか、町営住宅の入居者のプライバシーに関わる部分など、災害時などで助け合えるような体制はすでにできている。

(2) 岩美町男女共同参画に関する町民意識調査・事業所調査について

町民意識調査について

(事務局からの説明)

●委員 質問数が減ったということについては私は良かったと思う。このアンケート調査に当たったことがあったが、答えるのに苦労したので、シンプルな方がいい。また、前回調査票からの変更点について考え方をもう少し説明していただきたい。

○事務局 前回調査で伺った設問の中には、次期計画策定の参考資料としなかった問いがありました。そういったことから今回の次期計画策定にあたって、設問内容を精査し、必要となる設問数にさせていただいたということでご理解をお願いできたらと思います。

●委員 世の中も変わっていくので、5年ごとにブラッシュアップしていかないといけない。経年で比べることや新しく変えていくことは必要。そのバランスをとれたらということなんでしょう。

□ 事業所アンケートについて

(事務局からの説明)

○事務局 事業所に対してこのアンケートをすることで、こういった取組が必要なのかと、改めて気付いていただける良い機会になると思います。後日、欠席の委員にもこの町民意識調査・事業所調査票の案を確認していただき、ご意見をいただく期間を設けたいと思います。もし、欠席の委員からご意見がございましたら、それを反映させた調査票の修正案を、審議会員の皆さんに再度ご確認いただいて、ご承認いただいた上で調査実施へと進んで参りたいと思います。よろしいでしょうか。

●全委員 (異議なし)

●会長 その他何かありますか。

(全委員がなし)

4 閉 会

以上をもって議事全ての審議を終了し、午前11時40分閉会した。